

地域の見守りシート

見守りとは？ ⇨ 一人ひとりが、地域に住む方々に関心を持つことから始まります

少子高齢化やひとり暮らしの増加などにより、ご近所がお互いに心配し合い支え合う、地域の力がさらに重要となっています。普段顔を合わせているからこそ、気付くことの出来るSOSもあります。地域の力を高めましょう！！

“見守り”は、住み慣れた地域で、安心して生活を送るためにとっても大切なことです。

“見守り”には様々な方法がありますが、「あいさつをする」、「言葉を交わす」等、日々の生活の中にもたくさんの“見守り”の形があります。

変化に気づいたら… ⇨ ご近所や福祉関係者と対応を検討しましょう

近所の方に、いつもと違う様子に気付いたら、下記の見守り項目をご確認ください。

項目にあてはまるなど、気になることがありましたら、裏面の解決の事例を参考に、対応を検討してみてください。

(項目の該当数にかかわらず、その方の状況に応じた対応が必要となります。)

暮らし

- ・しばらく顔を合わさない
- ・昼間でも雨戸が閉まっている
- ・新聞や郵便物がたまっている
- ・家から異臭がする
- ・衣類が汚れている
- ・電気やガスが止められている
- ・「自殺したい」などと言っている

経済

- ・小遣いを持っていない
- ・年金があるのに「お金」がないと言う

身体

- ・一人で歩けなくなっている
- ・顔色が悪く体調不良を訴えている
- ・髪、ひげ、爪が伸びたまま
- ・顔や手足に内出血や傷がある
- ・最近、急激にやせている

家族

- ・怒鳴り声や泣き声がする
- ・物が飛び交う音がする
- ・本人に会わせない
- ・本人に対し乱暴にふるまう

認知症

- ・物忘れが目立つ
- ・同じことを何度も繰り返す
- ・ゴミ分別ができない
- ・季節に合わない服装をしている
- ・家族が介護の悩みを話している
- ・「盗まれた」と言うことが多い
- ・深夜に出歩く、道に迷う
- ・同じものを買っている
- ・店先で支払いのトラブル
- ・知っている人に初対面の対応をする

この場合、すぐに **119番通報**を！

- ・大量に出血している
- ・意識がない、またはもうろうとしている
- ・けいれんしている
- ・家の中で倒れている

緊急通報

こんな解決の方法がありました！

見守りの項目にあてはまるなど、気になる方はいませんか？

見守りの状況等はさまざまですが、地区によっては、下記のような対応により解決した事例もありますので、参考にしてみてください。

新聞や郵便物がたまっていて心配です…

⇒ 家主さんやご近所の方に聞いてみたところ…



☆アパートだったので、管理会社に電話をしてみたところ、入院していることを教えてくれました。
☆ご近所の方に聞いてみたところ、2週間前から旅行をしていることがわかりました。

最近、姿を見かけないので心配です…

⇒ 福祉の関係者に聞いてみたところ…



☆市役所に連絡したところ、地域包括支援センターが状況を把握していることがわかり、安心しました。
☆民生委員に連絡したところ、親族に連絡してくれて、親族が家の中の状況を確認してくれました。

電気が点けっぱなしで異臭がします…

⇒ 警察に通報しました。



☆警察官が駆け付け、状況を確認してくれました。

最近、急にやせて、体調も悪そうなので心配です…

⇒ 地域包括支援センターが把握していました。



☆ご本人に話しかけたところ、妻が入院して、きちんと食事をしていないことがわかりました。地域包括支援センターに連絡したところ、すでに状況を把握しており、親族と連絡をとり、今後の対応を協議していました。

ひとり暮らしで物忘れが目立ち、ひとりで歩けなくなっている高齢者がいて、心配です…

⇒ 民生委員がすでに見守っていました。



☆民生委員に連絡をしたところ、ヘルパーが生活援助を行い、ケアマネジャー等と一緒に民生委員が日々の生活を見守ることになっていました。

地域での見守りが大切です

福祉の関係者だけの「見守り」では、限界があります。緊急性のない場合は、地域で少し様子を見るなど、まずは、状況に応じ、その方にあった「地域での見守り」を検討してみましょう。